

# 洛南高等学校附属中学校突破カリキュラム

各学年の学習ポイント

入試データとポイント

学習計画

対策の特徴

## ◎ 年間スケジュール

	2月～7月	8月～1月	2月～4月	5月～8月	9月～11月	12月～1月
学校行事	期末テスト 三者面談					
トライ対策スケジュール	5年 基礎力養成期		6年			
			応用力養成期	発展力養成期	実践力養成期	
	算: 予習シリーズ5年上・下、一行問題集 国: 予習シリーズ5年上下、言葉の練習帳、漢字の学習 社: 予習シリーズ5年上下、サブノート 理: 予習シリーズ5年上下、サブ	算: 予習シリーズ5年下、一行問題集 国: 予習シリーズ5年下、言葉の練習帳、漢字の学習、近畿の中学入試問題集 社: 予習シリーズ5年下、サブノート 理: 予習シリーズ5年下、6年上、サブノート	算: 予習シリーズ6年上、一行問題集、近畿の中学入試問題集(標準編) 国: 言葉の練習帳、漢字の学習、近畿の中学入試問題集(標準編) 社: 予習シリーズ6年上、サブノート 理: 予習シリーズ6年上、サブノート	算: 近畿の中学入試問題集(標準編)、出る順計算 国: 新小学問題集ステージⅢ、漢字の学習、近畿の中学入試問題集(発展) 社: 近畿の中学入試問題集(標準編) 理: 予習シリーズ6年下、サブノート、近畿の中学	算: 近畿の中学入試問題集(発展編)、出る順図形、出る順計算 国: 出る順漢字、近畿の中学入試問題集(発展)、出る順言葉 社: 近畿の中学入試問題集(標準編・発展編) 理: 近畿の中学問題集(発展編)	算、国、社、理: 赤本、今までの教材のやり直し
ポイント	他行に比べ、洛南中学校の問題は4教科とも問題数が多い→処理能力が高い生徒が欲しい。 基礎的問題を素早く確実に解く→リハーサル学習法がポイント！ 知的問題はあやふやな点は残さない→基本問題に時間をかけられないが、確実に点数を取る訓練をすること。				*算数は集中力がカギ！（集中力を持続し時間配分を想定する！） *グラフ・統計、資料に日ごろから親しむ *記号問題のテクニックを覚える！ *併願は専願男子55%、女子60%、併願は65%が合格ライン！	

## ◎ Data Mining

入試データ&ポイント	平成21年度は募集人数約200人に対し、受験者数男600人・女247人、合格者数男234人・女56人、合格最低点(専)男216/400点・女249/400点(併)男260/400点・女260/400点 ポイント: 平成18年度から共学で一日入試になった。女子の方が最低点が高い。特に専願の合格最低点は女子が20点以上高い。
算数	試験時間70分、目標点数85/150点。計算式では、問題の式が長い場合が多いので、素早く工夫して解ける計算力を身に付けることが必須。応用問題が多いため、十分な基礎力の養成と応用問題の演習量が必要。出題分野: 計算問題(計算の工夫、小数分数の四則混合計算、時間の計算)、応用文章題(旅人算、面積比、つるかめ算、複合図形の求積)、《計算問題6、一文問題0、応用文章題22》
国語	試験時間60分、目標点数80/150点。漢字や国語の知識問題が多い。読解力と記述力が重要。問題数も多いため、問題を解くスピードをつける練習が必須。出題分野: 物語文1、論説文1、漢字 文章題に含まれる、その他: ことわざ・四字熟語・文法
理科	試験時間45分、目標点数4教科28/50点 3教科55/100点。時間配分に注意し、基本的な問題は確実に、応用問題は解けるものから解答していくことが必要。出題分野: 物理分野1～2題、化学分野1～2題、生物分野1～2題、地学分野1～2題
社会	試験時間45分、目標点数27/50点。問題の量が多く、内容も高度。幅広い出題や複数の分野の融合問題も多い。高得点がとりにくい教科。さらに、一部で世界地理や世界史など、中学校内容も出題されるのが特徴。出題分野: 地理1、歴史1～2題、公民1題

## ◎ こういう生徒にお勧め!

現在トライを利用中・または新しくご入会頂く方に最適なプランです。

- ①洛南中学を受験したい
- ②塾のサポートとして利用したい
- ③中学受験を通して人生経験を積ませたい!

## ◎ 対象エリア

対象学年: 小学4年～6年生

対応地域: 京都府全域、関西エリア他府県

指導期間: お申し込み時から受験日の月末

## ◎ 対策の特徴

特徴1

プロ家庭教師がご自宅へ伺い傾向と対策を伝授

特徴2

家庭教師単独、もしくは塾併用で号学まで導きます

特徴3

プロ教師以外にも現役京大生、洛南受験経験者が合格をサポートします。

対応教師

- ①中学受験専門のプロ教師
- ②洛南中学を受験し、合格した学生教師